

手稲緑地通信

秋の大掃除会を行いました

手稲区内の貴重な自生植物を守り育てている3つの公園で、恒例の秋の保全作業を行いました。

富丘西公園 第22回自然観察会

(10月31日(日)、参加者32名)



スズラン保全区域内の大掃除を行いました。夏から秋の高温のため、ススキやハギなども例年になく大きく育っていたために作業は大変でしたが、みなさんががんばってきれいに刈り取りました。作業後は、熱々の焼き芋を食べました。

～参加者の感想より～

- ・保全作業は良い運動になる。
- ・活動を続けることで、植物だけでなく、自分たちにも実りあるものになっているので、やって良かった。
- ・スズランはだいぶ増えたが、もう少し活動を続けたい。
- ・春にスズランがきれいな花を咲かせるのが楽しみ。

星置緑地 第15回自然観察会

(10月24日(日)、参加者16名)



湿地に広がっているササの刈り取りと、木道周辺に落ちている枝を拾い集めました。また、歩行者専用道路から緑地内がよく見渡せるよう、ヤマグワの一部の伐採や枝の剪定を行いました。

～参加者の感想より～

- ・初めて緑地を訪れたが、自然がたくさん残っていて感動した。
- ・毎年参加しているので、年々変化していく様子が楽しみ。
- ・これからも緑地を良い状態に保ち、残していきたい。
- ・春のミズバショウの観察が楽しみ。

稲穂ひだまり公園 第7回自然観察会

(10月31日(日)、参加者18名)



暖かい日差しの中、カタクリなどを保全している区域内のササの刈り取りと、落ちている枝拾いと、落ち葉の除去作業などを行いました。

～参加者の感想より～

- ・今までこの公園にこのような場所があることを知らなかったなので、まだ春のカタクリを見たことがない。
- ・保全区域内のササ刈りは、全てやってしまうのではなく、来年作業する部分も残しておきたい。
- ・こうやって手入れすることが大事なのだと感じた。

富丘西公園のスズラン保全の取り組み

2010年夏～秋の保全作業

7月1日(木) 10名参加
「第2回作業講習会」
木道周辺の草刈りなど



■小雨が降る中、木道に覆い被さっているナワシロイチゴやアキカラマツなどを刈り取った後、東側の保全区域で、春の作業で抜ききれなかったカモガヤを抜き取りました。

8月5日(木) 13名参加
「第3回作業講習会」
ススキの高刈りなど



■この二年間はススキの高刈りをやめていたため、ススキの勢いが回復してきました。そこで一部の区域から高刈りを再開しましたが、他の野草を傷めないよう、注意しながら作業を進めました。

9月2日(木) 14名参加
「第4回作業講習会」
オオアワダチソウの抜き取りと
オオイタドリ刈り取りなど



■保全区域内で、開花して見分けやすくなったオオアワダチソウを抜き取りました。また、林内北側のオオウバユリ自生地で、密生しているオオイタドリの刈り取りも行いました。

10月31日(日) 32名参加
「第22回自然観察会」
大掃除とお疲れさま会



■ススキなどの枯れたものが厚く堆積してしまうと、スズランなどの生育に悪影響が出てくるために、毎年秋遅く、保全区域内で枯れ草の刈り取りと搬出を行って来ました。作業後は、木道改修工事を行っている業者が用意してくれた焼き芋をおいしくいただきました。



7年間にもわたる取り組みにより、確実にスズランの生育環境が改善されてきています。今後も、スズランや他の植物の変化に対応した保全作業が必要です。まずは、来年も、春のカモガヤの掘り取り作業を行いますので、ぜひ、ご協力ください！

スズランの移植試験を行っています

10月11日(木)に、北大大学院農学研究院の近藤哲也教授の協力のもと、スズランの移植試験が行われました。この試験は、スズランが既に消滅している区域に、新たな生育地を作ることを実践したものです。

試験区域は、スズランがクズに覆われてほとんど衰退してしまった東側保全区域内に設置しました。そこに、ここから採種して北大の研究室で育苗した苗を移植し、今後の生育の様子を観察することになっています。



■近藤教授と学生さんによる作業の様子。(写真左)最初に、試験区域の草刈りと、草の根や石を取り除き、整地しました。その際スズラン8個体を掘り上げ、保管しました。



■作業後の試験区。(写真左)1m×1mの試験区を8個設置して、スズランの芽を20芽ずつ植え、たっぷり水を与えました。試験区内で掘り上げた株は、木道脇に移植しました。

木道の改修工事を行っています

スズラン保全区域の木道も、整備から十数年を経てあちこち傷んで危険なところも出てきました。そこで昨年度から、傷みにくい再生木材による木道の改修工事が進められ、駐車場側の木道が一新されています。

来年度も引き続き、東側の改修工事を行う予定で、スズランなど野草の観察にも役だってくれることでしょう。

星置緑地を守り育てる取り組み

2010年夏～秋の保全作業

7月8日(木) 9名参加
「第3回作業講習会」
木道周辺の草刈りなど



■悪天候にもかかわらず、9名の参加があり、小雨の降る中での作業になりました。木道に覆い被さる植物の刈り取りと、オオアワダチソウやクサヨシの抜取りを行いました。

8月25日(水) 12名参加
「第4回作業講習会」
ササやイタダリの刈取りなど



■市営住宅側入り口付近に増えてきているドクゼリを少し間引きました。周囲からの見通しをよくするために、昨年秋に刈り取ったササからの萌芽やオオイタダリの刈り取りも行いました。

9月12日(日) 10名参加
「第5回作業講習会」
ヒロハヒルガオの除去など



■植物観察をしながら、帰化植物の抜取り、クサヨシの除去、見直し改善のためのヤマグワの刈り取りを行いました。ヒロハヒルガオは、丁寧な除去作業によって少なくなっていることを確認し、さらに抜取りを行いました。

10月24日(日) 16名参加
「第15回自然観察会」
アシ刈り、ヒルガオ除去など



■ササの刈り取り後、暴風などによって落ちた枝を拾いました。さらに、防犯とポイ捨て防止のために、緑地南側のヤマグワの一部の除伐も行いました。ノコで枝を切り、まとめて緑地外へ搬出する作業が、一番の力仕事になりました。



「みどりのサポーター」の皆さんのご協力による保全作業の継続によって、緑地の植物が育つ環境が、より良く変化してきています。来年は、新設される木道周辺の手入れも新たに加わりますので、引き続きご協力をお願いいたします！

星置緑地の木道の整備がはじまりました！

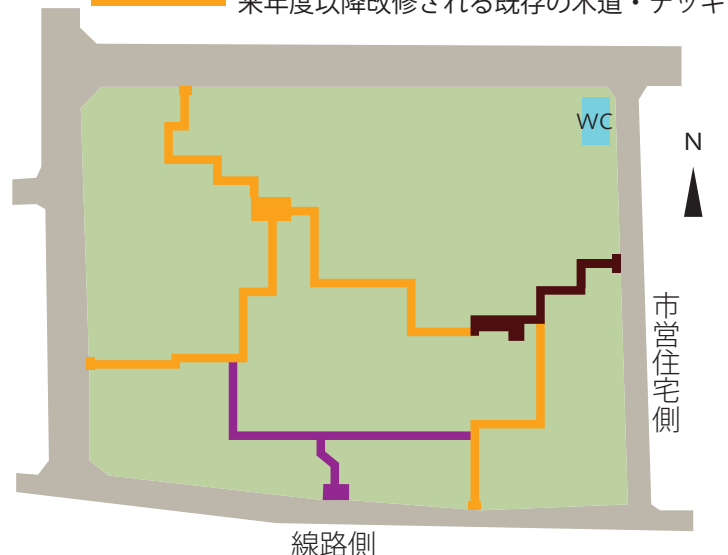
以前にもお知らせいたしました、緑地の木道の再整備が、11月から始まっています。

- ◆園内を回遊できるように、線路側に木道を新しく設け、これまで観察しにくかった植物も、より近くで楽しめるようになります。入り口のデッキも広く設けます。
- ◆ミズバショウの観察デッキの段差をなくします。
- ◆来年以降は幅の狭い箇所を拡幅し、車いすの方が通れるように木道を改修していく予定です。

なお、新設木道付近の貴重な植物は、「みどりのサポーター」のご協力によって、星置緑地内(または園内)の別の場所へ移植されました。

工事は、数年間かけて、植物に影響の少ない秋から冬に行っていく予定です。工事中はご迷惑をおかけ致しますが、どうぞよろしくをお願いいたします。

- 今年度新しく木道が新設されるルート
- 今年度に改修される既存の木道・デッキ
- 来年度以降改修される既存の木道・デッキ



様々な場で、取り組みが紹介されています！

「生物多様性」という言葉を、耳にしたことがありますか？「生物多様性」とは、あらゆる生物種の多さと、それらによって成り立っている生態系の豊かさやバランスが保たれている状態を言います。「国際生物多様性年」である今年は、各地で様々な催しが行われ、その中で、手稲区の公園で自生する植物を守り育てる取り組みも紹介されました。

COP10で、札幌市の事例の一つとして、富丘西公園の取り組みが紹介されました

今年の10月に名古屋で開催された、COP10(生物多様性条約第10回締約国会議)の「生物多様性交流フェア」で、全国から15の都市の生物多様性に関する取り組みの事例のパネルが展示され、フォーラム「都市における生物多様性の保全」で発表されました。

札幌市からは、「人口湿地で植生再生に挑戦する(平岡公園)」と、「自生のスズランを守る(富丘西公園)」の取り組みが紹介されました。

「北海道の緑と生物多様性フォーラム」のパネルディスカッションで紹介されました

9月4日、札幌市のかでる2・7において、環境省北海道地方環境事務所と社団法人日本造園学会北海道支部の共催により、2010年国際生物多様性年記念「北海道緑と生物多様性フォーラム」が開催されました。

基調講演の後に行われたパネルディスカッション(コーディネーターは北大大学院農学研究院の近藤教授)の中で、笠 康三郎さん((有)緑花計画)が、市民参加によって都市の生物多様性を向上させている事例として、富丘西公園、星置緑地、稲穂ひだまり公園の取り組みを紹介しました。

このような場面で紹介され、取り組みが多くの人々の目にふれています。公園や緑地の手入れは、とても地道な活動ですが、こうしたことも励みに、今後も取り組みを続けていきましょう！



来年度の取り組みについて

「手稲緑地通信」で紹介している三つの公園・緑地では、帰化植物の抜き取りだけでなく、在来種ではあるが繁りすぎると他の植物を圧迫したり、園内の見通しが悪くなるものについて、密度を減らすための抜き取りも行っています。これらの作業を地域の方がこまめに行うことにより、植物の生育環境が改善され、スズランやカタクリ、ミズバショウを初めとする貴重な野草が飛躍的に増えてきていることが分かっています。

来年度も、このような取り組みを続けて行く予定ですので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。



◆富丘西公園

カモガヤの抜き取り除去(4月下旬～5月上旬)、スズラン開花時期の観察会(5月下旬～6月上旬)、季節ごとの保全作業(7月～9月)、保全区域の大掃除(10月下旬)

◆星置緑地

緑地周辺の清掃活動(4月上旬)、ミズバショウ開花時期の観察会(4月下旬～5月上旬)、「みどりのサポーター」による保全作業(5月～9月)、緑地内の大掃除(10月下旬)

◆稲穂ひだまり公園

カタクリ開花時期の観察会(4月下旬～5月上旬)、秋の保全作業(10月下旬)

今後も、観察会や保全作業のご案内は、それぞれの公園の案内看板や、町内会を通じての回覧、これまでの参加者の皆さんへのハガキの送付などで行ってまいります。

連絡先:手稲区土木センター公園緑化係(電話:011-681-4011)